

就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	ももっ子くめなん	
人員配置区分	1. I 型 (7.5 : 1) 2. II 型 (10 : 1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	ネット利用	(公表場所) 岡山自立支援センター (URL) http://okayama-jsc.com/
	その他	

- 注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。
 なお、別添様式2-1「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」及び様式2-2「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）」も併せて提出すること。
- 注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。
- 注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。
 なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ももつきくめなん
住 所	岡山県久米郡久米南町南庄 1-1
電話番号	086-728-0333

事業所番号	3313800207
管理者名	香川 尚文
対象年度	令和 6 年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		5
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		4 点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	180 点	／200点
----	-------	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	18,150	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,951	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.15	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	20,567,343	円	利用者に支払った賃金総額	14,626,406	円	収支	5,940,937	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	27,149,147	円	利用者に支払った賃金総額	19,591,376	円	収支	7,557,771	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	22,243,170	円	利用者に支払った賃金総額	16,910,024	円	収支	5,333,146	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている ☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☐

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☐

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒

①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒

※研修名 令和6年度岡山県障害者権利擁護セミナー

研修講師 ノートルダム清心女子大学

実施日・受講者数 12月 1日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☐

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業者名 株式会社ビーハッピー

実施日/参加者数 2月 7日 4人

※他の事業所名 津山市社会福祉協議会

実施日/参加者数 11月 12日 10人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒

※商談会等名 魅力ある食の祭典

主催者名 岡山県産業振興財団・トマト銀行

日時 11月 20日

内容 フードマッチングフェア（農産品）

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒

◎当該人事評価制度を周知している ☒

人事評価制度の制定日 H29年 4月 1日

人事評価制度の対象職員数 10名

うち昇給・昇格を行った者 10名

当該人事評価制度の周知方法 社内掲示により

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ももっ子くめなん	事業所番号	33138000207
住 所	岡山県久米郡久米南町南庄 1 - 1	管理者名	香川 尚文
電話番号	0 8 6 - 7 2 8 - 0 3 3 3	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- ・活動場所 岡山県久米郡久米南町南庄 3 7 1 1
岡山県久米郡久米南町下弓削 3 8 1 - 1
- ・活動期間 モイモ (R6年4月～R7年3月)
JAきゅうり (R6年7月～R6年10月)
- ・活動概要 スイーツ店での調理補助、接客
JA選果場で、きゅうりの箱詰め等
- ・利用者数 モイモは、3名、JAは5～6人/日程度

<目的>

- ・農業生産法人と連携してスイーツ店での接客・調理作業
- ・地元JAの選果場にてきゅうりの選果及び出荷作業
(地域のメリット) 安定した作業力の確保
(対象者のメリット) 収入の確保、個人技能の向上など

<成果>

- ・実施した成果
地域の方との交流機会が増え、利用者の方の地域理解が進み、更なる地域連携に取り組んだ。
- ・得られた成果
利用者それぞれの能力を理解して頂き特徴を活かした技能の習得が行えた。
- ・連携企業へ
より安定した作業力を提供できるよう、利用者へのフォローアップを密にし更なる地域貢献へつなげたい。

<活動の様子>

モイモ作業風景



JAきゅうり選果場



連携先の企業等の意見または評価

- ・「モイモ」店内での調理補助や接客対応、店外での焼き芋等、来店されるお客様に気持ちよく利用して頂けるよう意識して作業に取り組んでいます。
今後も働きやすい環境を作って行けるよう連携していきたいと思います。
- ・選果場での作業員の確保が難しい中、ももっ子さんの利用者さんが一定数、決まって来てもらって作業に従事してもらえて助かっています。

連携先企業名	有限会社岡山県農商	担当者名	社長 廣瀬 樹里
	晴れの国岡山農業協同組合久米南支店		山本 徳久

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ももっ子くめなん	事業所番号	33138000207
住 所	岡山県久米郡久米南町南庄 1 - 1	管理者名	香川 尚文
電話番号	0 8 6 - 7 2 8 - 0 3 3 3	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 「ビジネスマナーについて」の勉強会 日時：令和6年10月9日（月） 9：00～10：00 ももっ子くめなん 参加人数： 20 名 内 容： 社会人としての必要な知識、マナーを学ぼう	<活動の様子>   
<目的> ○社会人として最低限必要なマナーやスキルについて再認識してもらうもの （あいさつ、身だしなみ、時間を守る、報連相をしっかりおこなう（間違いやミスは出来るだけ早く上司に報告））	
<成果> ○利用者さんの8割の参加がありました。 ○仕事上で必要なマナー等を学んだ。 ○きちんと朝の挨拶や報連相が出来ている人、また、言えていない人等温度差があり、この機会に再認識をした。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・皆さん、熱心に聞いて頂いた。 ・基本的な労働習慣として、健康はもちろんのこと、挨拶、返事、報告・連絡・相談、身だしなみ、一定時間仕事ができる体力が必要です。今後は、意識して声を出して行きましょう。	
連携先企業（担当者）	平野林業 代表者 平野勝美

利用者からの意見・評価

・働く上で、必要なことが分かった。 ・今後は、身だしなみに気をつけたい。 ・挨拶はしていたが、声が小さかった、相手に聞こえるように声を出す。 ・施設外就労先として連携して作業を行っている平野社長をお迎えして、研修会を行い再認識できたと思います。
--